

おとなりさん通販部×Juro Pottery

日々の暮らしに、すつと馴染む。 伊東の山奥でつくる器。

「自然体でいること。」
Juro Potteryの器には、
よそゆきではない、飾らない美しさがあった。



イッチンの小鉢。イッチンとは、泥漿や釉薬を絞り出し器面に描いていくと、その部分が盛り上がり模様になる技法のことで、ひとつひとつ手描きしている。両手にすっぽりと収まる大きさは、煮物やお浸しはもちろん、小さめのご飯茶碗としても良いサイズ。

こちらの器は、おとなりさん通販部ホームページからご注文いただけます。
<http://otonarisan.theshop.jp/>



暮らしの基本は道具にあり。
いい道具と、ゆつくり、ながく暮らしたい。
おとなりさんが見つけた、暮らしの道具をご紹介します。



（右・中）新しい工房は、広くて自然光が気持ちいい。テーブルの上に浮いた照明は、UFOのようなところが気に入っているそう。
（左）工房の近所にあるイタリアンレストラン「ラ・ポルタ」には、十郎さんのスリッパウェアの器が置いてある。パスタにもとても合う。

齊藤十郎さんの工房「Juro Pottery」は、伊東の山奥にある。「遠かった？」とニコニコ顔で出迎えてもらい、新しく建てた広い工房へ案内していただいた。大きなテーブルには、亀と犬を足して二で割ったような、変わった動物の形の木製の物入れが置いてあった。聞くと李朝時代のものなのだそう。「変わって面白いです。中にはお菓子が入ってまます。」ぱかっと開けると本当にスナック菓子が入っていた。

十郎さんの器に出会ったのは、2013年10月のことだった。「器・生活道具 日和」さんが、鴨宮から今の浜町の店舗に移転されたときのレセプションにお邪魔した際、店内に並んでいた十郎さんのスリッパウェアのカレー皿に一目惚れしたのだ。そのカレー皿は、何を盛っても様になり、とても重宝している。

齊藤十郎さんは、藤沢出身で1969年生まれ、46才。都内の大学を中退後、単身福岡へ越した。美術教師だったお父様の影響もあり、ものを作ることをしてみたいと思っていた十郎

広告

自治会御用達プレミアムなカラオケパーティールーム ガルブ 鴨宮飲食店組合



最大 55 名まで可能な大パーティールーム。各種懇親会に人気。駅近でこれだけの広さがあるのはうれしい。

上/個室は2部屋。写真の部屋は最大25名まで。下/2階には「純正昭和プレミアム」なスナックが突然出現。スナックに興味のある方は、ここなら広くてデビューに最適。



営業/11:00～深夜
(スナックは18:30～)
定休日/日曜日
☎0465-47-4341

創業は昭和初期、元々は「モアール」という喫茶店。現在は個室のカラオケルームと、大きなパーティールームが。パーティーメニューも、盛り上がる罰ゲーム用のロシアンピザや、果物やパフェまである。



お礼のごあいさつ
長崎 貴光さん
プレミアム商品券でたくさんの方に楽しんでいただき、ありがとうございます。鴨宮の夜はガルブのある裏通りも良い雰囲気ですので、是非お越しください。

一点物のハンドメイドで

『プレミアムなショッピング』を

○ハルネ小田原



小田原市が管理運営する地下街「ハルネ小田原」は、実はれっきとした「商店会加盟店」*2なのをご存知だろうか。そのハルネに市民参加型のレンタルボックスショップ「壁屋総本舗」がある。今ではこまめに品物の入れ替えをチェックする常連客がつくほどの人気。出店者もお客さんも多くが市民*3。ここ自体がまるで小さな「商店街」のようなのだ。

*2 小田原駅前東通り商店会加盟。
*3 市外の方のご利用、出店も可能です。